

間もなく夏休みシーズンを迎えるにあたり、マイカーで遠出の計画を立てていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？

そこで本号では、タイヤとバッテリーのメンテナンスに注目してみました。



夏にスタッドレスタイヤを使用するとどうなる？



※スタッドレスタイヤとは

凍結した路面や、積雪していても安定のある走行性を保つために開発されたタイヤで、低温でもゴムが柔らかく溝も深く設計されており、細かい切り込みが接地面全体に入っている。

夏にスタッドレスタイヤで走るのが危険な理由

① 滑りやすくなる

雪道や凍結路でのグリップ力を高めるために設計されており、夏タイヤよりゴムが柔らかく溝が変形しやすい。夏の雨天時には排水機能が十分に働かなくなりスリップしやすく、ブレーキ性能がノーマルタイヤより劣る。

② 燃費が悪くなる

雪道の走行性向上を重視して路面との接地面積が広く設計されており、必然的に路面からタイヤが受ける抵抗が大きくなるために燃費が悪い。

③ バーストしやすくなる

ゴムが柔らかく変形して発熱しやすい特性があり、温度が高い夏に高速走行を長時間行うとタイヤに熱がたまり、バースト（破裂）してしまう可能性がある。

④ タイヤの寿命が短くなりやすい

ゴムが柔らかいため摩耗が早く、夏も使い続けることで必要以上にタイヤの寿命を短くしてしまう。



上記より、最も大切な安全面を鑑みると、季節に応じてタイヤは履き替えた方が良いでしょう。

また、車のパーツの中で唯一地面と接するタイヤは、空気圧やゴムの状態、タイヤ側面のスリップサインなど、こまめな点検も心掛けましょう。

オールシーズンタイヤは1年中使用できるのか？



名前のお通り1年中履き替え無しで使用できるタイヤで、スタッドレスタイヤと夏タイヤの特徴を程よく兼ね備えており、多少の積雪や夏の雨天時も安定して走行が可能。

しかし、走行可能な積雪は1～2ミリ程度までで本格的な積雪時には走行ができないため、雪が多い地域にはお勧めできません。



オールシーズンタイヤは全天候を考慮したものであり、冬の氷上・雪上路面の走行に特化したものではないため、凍結路などを走行する可能性がある場合にはスタッドレスタイヤを推奨します。



バッテリー上りは1年中起こりがちです！

バッテリー上りとは、過放電や劣化が原因でエンジンが始動できない状態のこと。

夏場は温度上昇により化学反応が活発になるために自己放電・劣化が進みやすくなり、また、冬場は温度低下により化学反応が鈍くなりバッテリー性能が低下します。

◆主な原因

- ライトの消し忘れや半ドアの状態での長時間の放置
- 長期間（概ね3週間以上）運転していない
- エアコンやドライブレコーダー、DVDなど電装品の使用量の増加
- 端子の緩みによる接続不良
- そもその寿命

◆バッテリー上がりの症状

- エンジンがかからない
- セルモーターが回らない
- 室内灯や表示ライトがつかない

◆バッテリー上りを防ぐポイント

- 1～2週間に1回は1時間以上走行する
- 容量や充電効率の高いバッテリーを使用する
- 定期的にバッテリー点検や交換を実施する

◆バッテリーが上がった場合の対処方法

- ブースターケーブルで他の車から電気を分けてもらう
- JAFなどのロードサービスを利用する

バッテリーは消耗品です！

こんな症状はありませんか？

- ✓ エンジンのかかりが悪くなってきた
- ✓ ヘッドライトが暗い
- ✓ パワーウィンドウの動きが遅い
- ✓ クラクションの音が弱々しい
- ✓ バッテリー液の減りが早い
- ✓ 充電してもバッテリーが回復しない
- ✓ 走行中に何度かバッテリー上がりの経験がある
- ✓ 2年以上バッテリーを交換していない



バッテリー上がりは1年中起こりますが、気温が高い夏はさらに要注意。夏の暑さはバッテリーの自己放電（電池を使用していなくても微量の電力が減っていくこと）を促進させ、またエアコンのフル稼働は電力の消費量が増えます。車のバッテリーも携帯電話と同じように徐々に劣化していきます。ある日突然エンジンがかからない！そんなことのないように定期的な点検をお勧めします。

バッテリーが上がってしまった場合、JAFなどのロードサービスの他にも、自動車保険の付帯サービスが利用できることもあります。

詳細は、弊社営業社員までお問い合わせください！

弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”



[アンケート-東京セントラル\(tokyo-central.co.jp\)](http://tokyo-central.co.jp)



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。